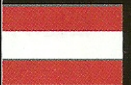


VIENNA ACOUSTICS

# ウィーン・アコースティクス



オーストリア  
(1989年～)



● 試聴モデル

## Beethoven Baby Grand SE

¥315,000/1台

● 型式:3ウェイ4スピーカー、バスレフ ● ユニット:  
2.8cmカスタムメイドネオジムシルクドームトウィーター、  
15.2cmX3Pミッドウーファー、15.2cmX3Pスパイダー  
コーンウーファー×2 ● 周波数特性:30Hz~22kHz ●  
クロスオーバー:170Hz、2.6kHz ● 感度:91.0dB ● イ  
ンピーダンス:4Ω ● 推奨アンプ出力:40~250W ● サ  
イズ:260W×1065H×325Dmm(スパイク、スタンド  
含む) ● 質量:27.5kg ● 取り扱い:(株)ナスベック

本誌が注目する  
世界のスピーカー  
ブランド

# 21

1989 音楽の都、ウィーンにて創業。各種スピーカーの開発・発売を開始する

1991 38ものメイル板を積層し、独創的なデザインとしたMUSIを発売。

1992 正方形の筐体を持つKT-88を採用した真空管アンプCUBUSを発売

1995 大きな成功を取めたフロア型スピーカー-MAESTROを発売

2009 同社の新シリーズとなるKLIMITシリーズ登場

2013 日本での取り扱いが新ナスペースに変更。より身近なモデルを中心として日本に紹介されることとなる

# 若き開発者の熱い想いによって 音楽の都、ウィーンにて誕生

Text by  
**井上千岳**  
Chitake Inoue

初期の製品は別として、我が国でよく知られているのがスパイダー・コーンというユニットである。透明な樹脂製の振動板に、放射状および円周状にリブが入っている。これが強度を飛躍的に高め、再現性の向上に貢献しているが、同社の独創であるという。このほかにもコーンの材質やネットワーク、キャビネットなどあらゆる部分に入念な解析と研究を進め、理

論的にも聴感的にも納得のゆく開発を行ってきたのが同社の姿勢である。単にウィーンという名に頼った脆弱なメーカーではない。現在のラインアップはコンサート・グランド・シリーズという。ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの名が冠され、いずれもスリムなトールボーイ・スタイルないしブックシェルフ・タイプとしている。これにも明快な理由があるが、そうした技術面の徹底も特徴といつていい。

● 代表モデルを聴く  
引き締まった質感と  
伸びやかな響きが魅力的

ピーク社との共同開発によるオリジナルのシルクドーム。特殊なコーティングも施されている。またミッドレンジとウーファーは独自配合のポリマー製で、ポリプロピレンの含有量に企業秘密があるという。そしてウーファーはクモの巣状のリブを持たせたスパイダー・コーンである。

底部には新設計の脚部が新たに採用され、高さ調整も簡単・正確に行える。またフロントグリルにはディフェューザーが組み込まれ、ネットを装着した状態で最適な指向特性を得ることができる。上下に滑らかに伸びて肉質感も豊かだが、中域の棘と力みをわずかに抜いて当たりを柔和にしているのが細心の配慮といえそう。ピアノの低音部やジャズのベースは強靱で把握力が強く、アカペラは引き締まった質感と伸びやかな響きが魅力的だ。ハーモニの息遣いなど極めて繊細。オーケストラは瞬発力に富み、鮮明で切れがいい。瑞々しい音調である。

## ● ウィーン・アコースティックスならではの技術

### ディフェューザーとしてのサラネット

フロントパネルのサラネットは、普通外して聴くものだ。音の抜けや伸びに影響が出てくる。しかし同社の場合は、ここにディフェューザーを組み込んで指向性を整えている。実際ネットを外すとピンが合わず、装着した状態で初めて焦点の合った音調が得られる。外観上はもちろん装着した方がいいが、音質を全く損なわずしかも拡散性を適度に制御するというのは、なかなかできるものではない。技術力の確かさを裏付ける装備である。



## ● 開発者が語る

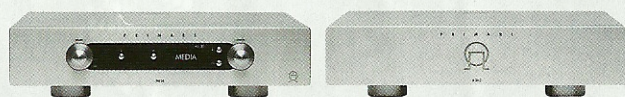
### 偉大な作曲家に敬意を表したスピーカー

ウィーン・アコースティックスは、ベートーヴェンやハイドン、モーツァルトなど数々の偉大な音楽家への敬意を込めた製品を送り出しております。ドライバー自体の生産は行っておりませんが、使用するユニットには全て我が社の特許技術や改良を加えており、専用のカスタムドライバーとして使用しております。ウィーン・アコースティックスのスピーカーを通して、作品に込められた想いを感じ取っていただくと幸いです。



VIENNA ACOUSTICS  
Peter Gansterer 氏

## ウィーン・アコースティックスが使用しているアンプ、ケーブル



ウィーン・アコースティックスはオーディオショウなどにて、スウェーデンのプライマーの製品を使用している。もちろん、メーカーとしてさまざまなスピーカーとの組み合わせを想定しており、その研究にも余年はない

## ウィーン・アコースティックスの主なラインアップ

XPPスパイダーコーンや、X3Pコーンなど同社ならではのスピーカーユニットを搭載した上位モデル「Beethoven Concert Grand」(¥367,500/1台)



オーストリア出身の作曲家、フランツ・ヨーゼフ・ハイドンの名を冠した「Haydn Grand Symphony Edition」(¥262,500/ペア)。スパイダーコーンを始め、三層ネオジウムを採用したフロントバスレフポート採用複合型トウイーターなどの採用が目玉される

